

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	8	2	付き	14:00	15:00	市役所	1
活動名称	鶴ヶ島ほっこり村診療所との打ち合わせ					報告者: 小澤	

市健康長寿課 石川 施設側: 理事長、施設長

<打ち合わせ目的>

健康長寿課の石川さんから紹介された、ベンチ寄贈先の「鶴ヶ島ほっこり村診療所」との打ち合わせを行いました。

ベンチの配置場所や使用目的などについて、打ち合わせしました。

<主な打ち合わせ内容>

2023年9月に楷書予定の医療的ケア児を対象とした福祉施設で、庭にベンチを配置し、父兄の交流やケア児童の野外の体験などに利用したいとの事でした。

その際、父兄が児童を抱えて、野外に出る、又、機会をつけたまま、寝たままでも野外で楽しむなどになるとの事です。このため、ベンチは介添えの人が子どもを抱えて座ることになるとの事で、背もたれがあった方が介添えする人が楽だとのことで、出来たら、背もたれのアルベンチがありがたいとの事でした。

又、寝たままの子どもを野外で体験するためには、90cm×180cm位のベンチがあると機会つけたまま外へ出すことが出来るとの事でした。

施設の責任者によると、出来るだけ、父兄のみならず一般の市民の方々にも、ケア児童の実態を知ってもらいたいとの事で、庭園での交流などが出来たらうれしいとの思いを語っていらっしゃいました。

庭園は、芝張り、日陰がないので樹木があったらとのことで、施設の開園記念植樹に小彼岸桜を植えたらどうかと提案したところ、検討してくれるとの事でした。

その他、子ども達にはえ本の読み聞かせなどもしたいとのことで、別の古い絵本を集める活動(モン流推進委員会)の中から、施設にも寄贈してほしいとの事でした。

<課題・評価>

重度障害児の生活支援を行う施設が、鶴ヶ島市に新設されるということを知って、大変、感動しました。理事長さんにお会いし手、志にも感銘しました。つるがしま里山サポートクラブとしては、全ての市民の皆さんに自然を体験して欲しいと思う願いを、この施設で取り組むとは、シンボルの1つとなるかも知れないと思っています。できる限りの支援をしたいと考えています。

ベンチプロジェクトとしては

1. 背もたれ付きベンチ 2台、重度児童の野外利用台 (90cm×180cm 位) を製作し、寄贈する。

その他、里山クラブの支援として

2. 室内の調理台が狭く、電子コンロの上を活用出来るまな板 (30cm×70cm×台付き)
3. 開演記念植樹として、小彼岸桜 2~3本 (二脚鳥居付き) 9~10月ごろ)

等が出来ると良いと考えています。

<里山参加会員>

小澤邦彦

